



~ 文部科学省委託事業 ~

「超高齢社会における認知症患者に寄り添う医療・介護連携型の中核的鍼灸専門人材の育成」

第二回実施委員会

11月10日(月)18:00~

会場: 5階 501教室

文科省委託事業·第2回実施委員会

- 次第
- 一開会
- 二委員長(後藤修司)挨拶
- 三 第1回実施委員会議事録の確認(事務局長 兵頭明)
- 四 各分科会の進捗状況の報告
- 1 調查分科会(未来工学研究所 和田雄志先生)
- ① 全国市区町村に対するアンケート調査 (未来工学研究所 和田雄志先生)
 - A、自治体ヒアリングまとめ
 - B,アンケート票の報告
- ② 各分科会のためのアンケート調査票の作成報告
 - A, 実証分科会・実証講座受講後のアンケート票の作成と集計
 - B, 鍼灸医学系・認知症施術対応マニュアル作成にあたっての アンケート票作成
- ③ 各分科会および実証講座に出席し教材のIT化に向けた調査 (デジタルナレッジ 中田康宏リーダー)

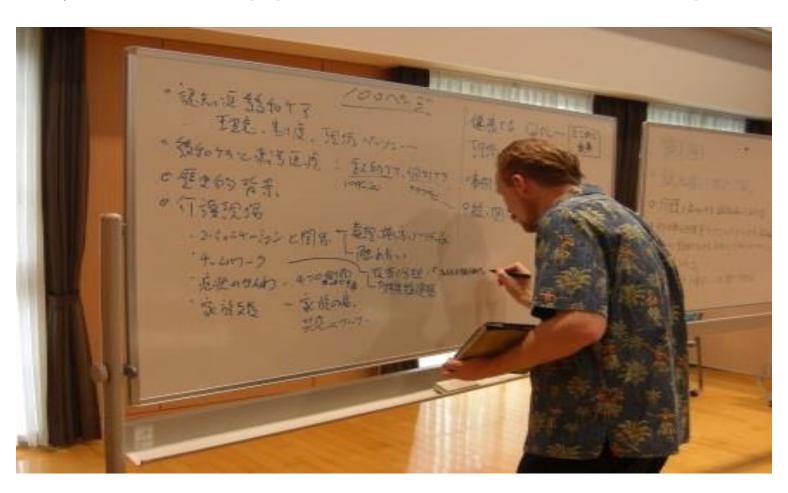
- 2, 教材開発分科会
- ①西洋医学系教材開発分科会 (川並汪一委員)
- ②介護福祉系教材開発分科会 (廉隅紀明委員)
- ③鍼灸医学系教材開発分科会(兵頭明委員)
- 3, 実証分科会
- ①第1回実証講座開催の報告
- ②アンケート調査結果の中間報告

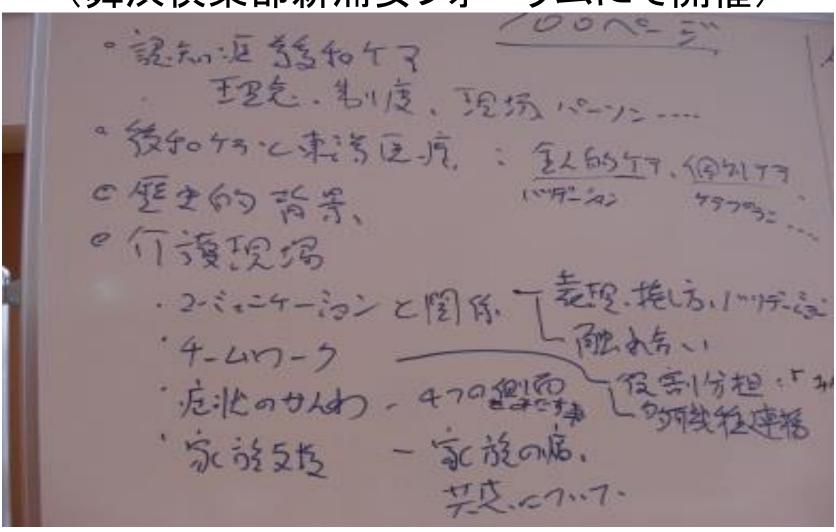
- ・六、教材執筆要綱について
- ・七、今後の教材執筆タイムテーブルの最 終確認
- ・ 八、第3回実施委員会のご案内
- ・ 九、成果報告会のプログラムの紹介
- 十、意見交換
- 十一、閉会

調查分科会•進捗状況報告

- 1 調查分科会(未来工学研究所 和田雄志先生)
- ① 全国市区町村に対するアンケート調査 (未来工学研究所 和田雄志先生)
 - A,自治体ヒアリングまとめ
 - B,アンケート票の報告
- ②各分科会のためのアンケート調査票の作成報告
 - A,実証分科会・実証講座受講後のアンケート票の作成と集計
 - B,鍼灸医学系・認知症施術対応マニュアル作成にあたっての アンケート票作成
- ③各分科会および実証講座に出席し教材のIT化に向けた調査
 - (デジタルナレッジ 中田康宏リーダー)













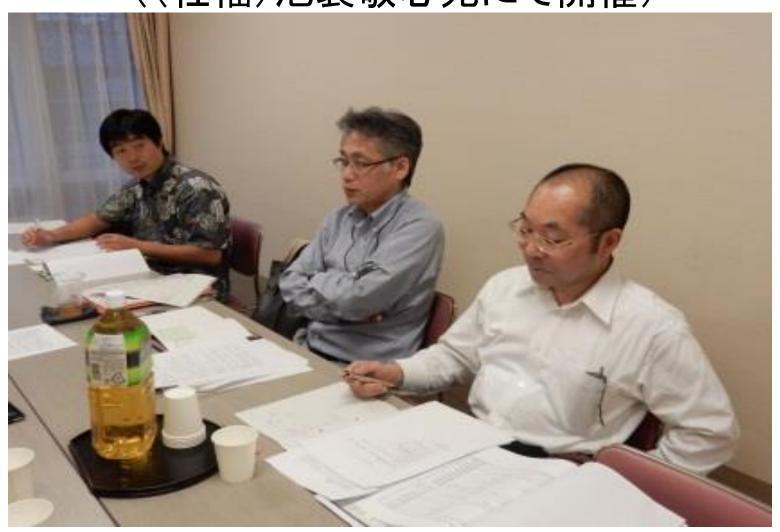
【教材の組立て・執筆分担決定】

- 1, 認知症緩和ケア: 理念
- 2,制度:介護保険制度、成年後見制度
- 3, 現場:施設、在宅
- 4,緩和ケアと東洋医療:全人的ケア、個別ケア
- 5, コミュニケーションと関係 表現、接し方、バリデーション、触れ合い

【教材の組立て・執筆分担決定】

- 6, チームワーク 役割分担、多職種連携、ケアプラン
- 7, 症状の緩和:4つの側面をみたす事
- 8, 家族支援:家族の病、共感について
- 9, 健康とは QOL 食事など
- 10, 事例:4事例、ケース報告、対応例
- 11. 介護とは
- 12,鍼灸師が介護現場で注意すること (リスクマネジメント)













10月9日(木)第2回介護福祉系分科会

- 一、会議の目的
- ①教材執筆進捗状況の報告
- ②執筆内容の確認
- ③執筆書式の検討
- 4今後のスケジュールの確認
- 二、次第
- ① 事務局長挨拶および教材執筆にあたっての要望
- ② IT分野の中田康宏氏から教材のIT化に向けた提案
- ③ 教材執筆進捗状況、内容の相互確認
- ④ 今後のスケジュール確認

10月9日(木)第2回介護福祉系分科会

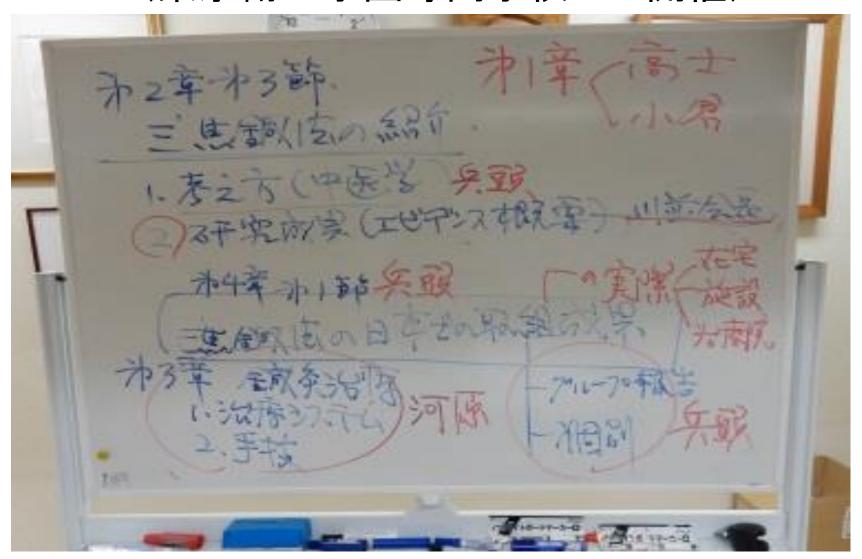
- 三、会議内容
- 1, 兵頭事務局長から来年度の教材のIT 化に向けた説明
- 2, IT中田康宏氏からの説明
- 3, 教材執筆進捗状況の確認
- 4,執筆内容の確認
- 5,執筆書式の検討
- 6, 今後のスケジュール確認

8月30日(土)第1回鍼灸医学系分科会













- ・会議の目的:
- 鍼灸医学系教材の組立て、内容の決定および 分担執筆者の検討
- 次第:
- 一、西洋医学系、介護福祉系、鍼灸医学系の3分野連携による教材開発の方針の再確認
- 二、教材の組立て、内容の検討
- 三、分担執筆者の検討

- 会議内容:
- 一 3分野連携による教材開発の方針の再確認
- ① 3分野がそれぞれ独立して執筆するのではなく、横断的に関連させる
- ② テーマを認知症に特化することにより専門性を高める
- 一 教材の組立ての検討、内容の決定
- 第1章 老年医学と鍼灸医学
 - 第1節 高齢者の生理病理の特徴
 - ・第2節 老化現象について
 - ・第3節 高齢者に対する全人的・総合的アプローチ
- 第2章 鍼灸医学(伝統医学)の認知症に対するアプローチ
 - ・第1節 認知症のとらえ方
 - 第2節 日本と中国における認知症に対する鍼灸治療(文献)
 - 第3節 認知症に対する代表的な治療穴(文献調査)
 - 第 4 節 三焦鍼法による認知症治療
 - 1 三焦鍼法の考え方
 - 2 研究成果 (エビデンス概要)
- 第3章 認知症に対する鍼灸治療
 - 第1節 治療システムについて
 - 第 2 節 手技

- 第4章 日本における認知症に対する鍼灸治療の取組成果
- 1 在宅、高齢者入居施設、治療院等でのアプローチ(個別の事例報告)
- 2 鍼灸治療グループによる取組成果
- 第5章 認知症治療の事例・対応集
- 1,在宅治療における事例・対応集
- 2, 高齢者入居施設における事例・対応集
- 一 分担執筆者の検討(案):メール連絡にて最終決定とする
- 1. 高士、小倉
- 2. 兵頭、青木、研究成果(エビデンス概要)は川並
- 3. 河原
- 4. 兵頭、川並
- 5. 中村、青木、上垣内、河原
- 第1章~第5章の編集作業(監修):齋藤、兵頭











- ・ 会議の目的
- 教材執筆の進捗状況を確認する。また教材をどういった形で仕上げるかを検討すると同時に、教材のIT化のためのノウハウ、アドバイスをオブザーバーとして出席いただいた中田康宏氏から紹介してもらい、考え方を共有する。
- 次第:
- 一、第1回分科会の議事録の確認
- 二、教材のIT化に向けたノウハウ、アドバイス
- 三、分担執筆の進捗状況の報告と内容の確認

8月30日(土)第2回鍼灸医学系分科会 (東京衛生学園専門学校にて開催)

- 会議内容:
- 一、第1回分科会の議事録を確認し、第5章の「サポート・マニュアル」を「事例・対応集」に変更することを決定した。
- 二、中田康宏氏からeラーニングについて紹介があり、10月19日の実証講座の映像を記録し、どの部分をeラーニング化すると学習効果があがるかを検討することとなった。

8月30日(土)第2回鍼灸医学系分科会 (東京衛生学園専門学校にて開催)

- 一分担執筆の進捗状況と内容の確認
- 1 第 1 章
- 8割くらい執筆が終わっている。小倉先生が執筆している「生活習慣病と認知症」が加わる予定。
- 第2章
- 第1節:認知症のとらえ方についてはまだ未執筆。認知症の 証分類を紹介してみてはどうかとの提案があった。
- 第2節:中国だけでなく日本での各種取組ということで経絡治療、現代鍼灸によるアプローチを紹介することとなり、執筆者については中村真通先生にご推薦いただくこととなった。三焦鍼法のエビデンス・サマリーを川並汪一先生に、また世界の認知症に対する鍼治療について小俣浩先生にまとめてもらおうとの提案があり、執筆依頼を出すことが決定した。
- 第3節と第4節は8割くらい執筆が終わっている。

8月30日(土)第2回鍼灸医学系分科会 (東京衛生学園専門学校にて開催)

- 第3章
- 河原先生が執筆中で全体的なたたき台はできているとの報告があった。各治療穴への刺鍼の写真を挿入することを検討中。
- 第4章
- 個別の事例報告、及び鍼灸治療グループによる取組成果の執筆が7 割くらいはできている。
- 第5章
- 認知症治療のサポート・マニュアルについては、現時点でサポート・マニュアルを作成することは難しく、「事例・対応集」とすることに決定した。認知症に対する鍼灸治療の経験のある先生方に調査分科会に依頼してアンケート調査を行なうこととなった。認知症に対する鍼灸治療の施術前、施術中、施術後の対応事例集はまだ日本にはないので、第5章は非常に重要なものとなる。
- アンケート調査の回答は中村真通先生にまとめていただき、第5章 とすることとなった。

8月30日(土)第2回鍼灸医学系分科会 (東京衛生学園専門学校にて開催)

- ・【まとめ】
- 鍼灸医学系教材の分担執筆については、概ね順調に進んでいることが確認された。またより充実した教材にするため委員たちから新たな提案がなされ、教材に取り組んでいくこととなる。
- 鍼灸師が認知症の方に対応してきた事例をまとめ、 一方で介護福祉現場の立場からどのように対応すると良いかなどのコメント、アドバイスをいただくことができれば、ここにも2分野が横断的につながることとなり、連携教材としての価値と質が高まる。鍼灸医学系分科会としてはぜひ多職種連携につなげていきたい。





~ 文部科学省委託事業 ~

「超高齢社会における認知症患者に寄り添う医療・介護連携型の中核的鍼灸専門人材の育成」

第一回実証分科会・実証講座

10月19日(日)10:10~

会場: 301教室



(日本医学柔整鍼灸専門学校にて開催)

講座:西洋医学系、介護福祉系、鍼灸医学系の

各1講座(90分×3)

時間:10:10~11:40 西洋医学系講座

 $11:40\sim 12:10$

ヒヤリング、アンケート調査

12:10~13:00 休憩

13:00~14:30 介護福祉系講座

14:40~16:10 鍼灸医学系講座

 $16:20\sim 17:00$

ヒヤリング、アンケート調査





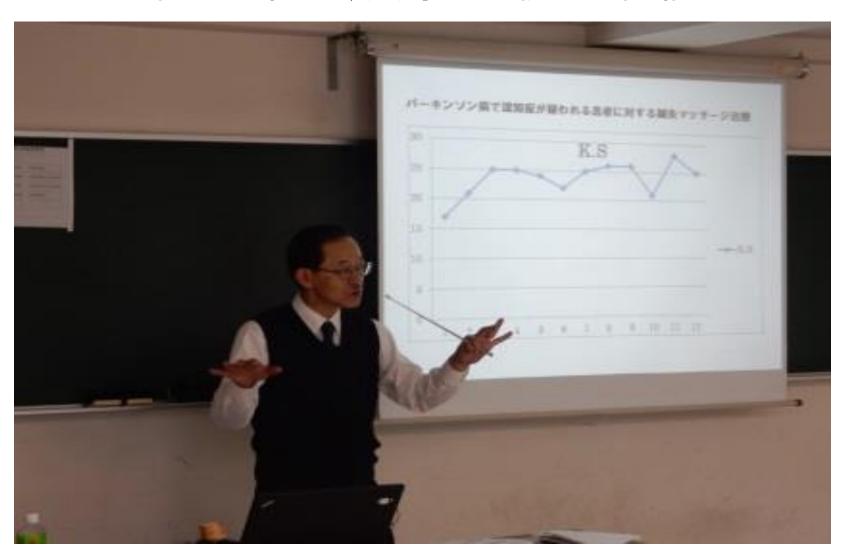


















実証分科会・第1回実証講座アンケート調査

アンケート調査結果の中間報告

教材執筆要綱について

配布資料を参照

今後の教材執筆タイムテーブル

12月17日 (水): 教材原稿提出メ切 (教材開発分科会ごとにまとめてご提出ください)

12月18日(木)~1月8日(木)編集作業、ゲラ作成、ゲラ校正

第3回実施委員会のご案内

会場:アルカディア市ヶ谷

日時:2015年2月9日(月)

10:00~12:00

成果報告会のご案内

会場:アルカディア市ヶ谷

日時:2015年2月9日(月)

13:00~13:30:受付

13:30~16:00 成果報告会

成果報告会のプログラム

一部:13:30~14:15

プロジェクトの概要と成果報告(兵頭)

(14:15~14:30 休憩)

二部:14:30~16:00

パネルディスカッション

テーマ:

コーディネータ:後藤修司

パネリスト:

西洋医学系:川並汪一

介護福祉系:グスタフストランデル

鍼灸医学系: 兵頭明